

No. 19 2026年4月5日

復活祭(イースター)主日礼拝
 説教『復活の証人』
 吉丸初美師
 司式 山根真三さん
 奏楽 白石百合子さん
 招詞 Iコリントへの手紙 15章3~5節
 の祈 (564)
 讃詠 5 4 6
 交読詩編 詩 2 3 編
 祈禱
 讃美歌 21 - 3 1 7
 使徒信條 (566)
 聖書 マルコ福音書 16章1~8節
 説教 (口語訳81頁、新共同訳47頁)
 『復活の証人』
 祈禱
 讃美歌 21 - 3 2 3
 聖餐 式 21 - 8 1
 献金
 感謝 告 5 4 2
 報 告
 頌 榮 5 4 2
 祝 禱
 後 奏

次週の礼拝(復活後第一主日礼拝)
 説教『恐れ後の喜び』
 ヨハネ福音書 20章19~29節
 招詞 Iペテロ1章3~4節/交読詩篇110編
 讃美歌 546、21-149、21-321、543

礼拝当番
 今週 5日 司式 山根真三さん
 次週 12日 司会 吉丸初美さん
 会堂清掃奉仕
 5月3日(日) コーヒータイム後に行います。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分~
 ★出会いのひととき 礼拝後~
 それぞれの思いを語り合しましょう。
 ★礼拝後イースター祝会を行います。ご参加ください。
 コーヒー、お菓子イースターエッグを用意しています。
 ★定例教会役員会 イースター祝会后行います。
 教務・教勢報告、会計報告、教会総会への協議等。
 教会役員員の健康と働きをお祈り下さい。

今週の集会/スケジュール

※めぐみ幼稚園2026年度始業式 4月9日(木)
 10時30分~年長さん7名で最後の一年を過ごします。
 子どもたち保育者の働きと健康をお祈りください。
 ※めぐみ幼稚園イースター礼拝 4月10日(金) 10時30分
 教会堂で礼拝の後園庭に隠してあるイースターエッグ
 を園児たちがワクワクしながら探します。
 見つけることができるか楽しみです。●●

次週以降のスケジュール等

5 広島キリスト教信徒会理事会 4月14日(火)10:30~
 ★聖書を読む会 4月 21日(火) 10時30分~12時
 旧約聖書 創世記14章を読みます。聖書の中で
 疑問に思う箇所を話し合います。実り多い時間です。
 5 広島拘置所教誨奉仕 4月22日(水)13時30分~16時
 施設にある方の信仰を覚えお祈りください。

◎ 公 告 ◎

★2026年広島西部教会定期教会総会
 日時:4月19日(日) 13時~15時
 議題:教務・教勢報告、決算・予算、役員選挙等
 キリストの体である教会活動を共に考えましょう。
 ★西中国教区定期教会 5月19日(火)13時30分~

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	2	4	6
聖書を読む会	2	3	5
受難日祈禱会	2	3	5

◇今週の説教要旨(復活祭(イースター)主日礼拝)
 『復活の証人』マルコ福音書 16章1~8節
 「他人を救ったが、自分自身を救うことができない。イスラエルの王」としてののしられ、あざけられ、十字架で処刑されたイエスさまは、アリマタヤのヨセフの墓に亜麻布に包まれて納められました。それは安息日の前でした。その安息日が終わった次の日、マグラダのマリアとヤコブの母マリアとサロメが香料をイエスさまの体に塗るために買って墓に向かいました。きっと臭いが出ていると思い急いで行ったのでしよう。彼女たちはイエスさまの復活を信じていなかったのです。でもここに彼女たちのイエスさまに対する愛を見ませんか。墓の中に横たわるイエスさまの体のことを思う健気な姿を感じます。この時弟子たちはどうしていたのでしょうか。イエスさまが十字架にかかれた時男性たちは逃げ去り沈黙して不信仰の中にいました。一方女性たちは最後まで従った者として描かれています。その最後までいた女生たちがこの箇所に出てくる彼女たちなのです。墓に着いた時、先ず墓の入り口を塞いでいた大きな石が転がされて墓の中に遺体がないという常識外れの現実に直面しました。墓の中に入ると右手に若者が座っておりその姿は天使のようです。彼女たちは未曾有の出来事に触れ恐れ逃げ語れなくなりました。天使が言うにはイエスさまは復活されてガラヤでお会いできるであろうと。喜びの知らせですが彼女たちにとっては理解を超えた出来事でした。神が死に対して勝利を宣言された出来事。神が本当に介入された瞬間を彼女たちは体験しました。目の前で体験した彼女たちの反応は恐れと口を閉ざさせるほどの衝撃で言葉にできない状態でした。復活はすでに起こっていました。でも誰もイエスさまを見ていません。マルコはこの物語をあえて女性たちの恐れで終わらせています。なぜでしょうか。空の墓というしるしはありました。天使からイエスさまは復活されたと聞きましたが、それだけでは信仰は生まれませんでした。ではいつ生まれるのでしょうか。復活の最初の証人は信仰に満ちた人ではなく、恐れに震える人たちでした。そしてその恐れの中にこそ神との出会いの始まりがあったのです。